

第4回デイサービスセンターかおり 運営推進会議 議事録

日 時 : 平成30年9月19日水曜日 18時～19時

場 所 : デイサービスセンターかおり 食堂兼機能訓練室

テーマ : 防災について

参加者 : 松前町保険課職員1名・松前町総務課防災担当者3名・松前町地域包括支援センター1名・他事業所職員等8名・利用者家族11名・利用者4名・事業所職員17名
合計45名

1. 開会の挨拶 理事・デイサービス管理者：盛次有希

今日のテーマは「防災」。7月は西日本豪雨 9月は大阪中心の台風被害や北海道大地震とこの夏は沢山の災害が続きました。故に皆様の興味があったのか、このように多くの方に参加いただき感謝です。

別紙資料「土石流でもけがゼロの団地 結実した訓練と担当者制度」

この記事を見て、ぜひとも私たちの住む松前町も同じような取り組みがしたいと思いました。備えあれば憂いなし をモットーに、今の私たちにできること、今、考えておくべきことは何か、ポイントを整理し、実行することが今日の運営推進会議の獲得目標です。単にいい話を聞いてよかった、ではなく、明日からの私たちの生活に変化をもたらす会になったら、と思います。

2. 講義「災害に勝とう！」理事長：盛次義隆

別紙資料あり。

DSかおりのある筒井地区が備えないといけない災害は「重信川決壊」と「南海大地震と津波」である。要介護者を連れての避難は準備も移動も時間がかかるため「避難準備」の時点から非難をする必要があることを確認し、迷わず「松前町体育館」へ行こうとなる。また、避難後の生活をどのように支えるか、という部分も日ごろから専門職で情報共有を行いながら考えていく、研修を重ねておく必要があることを役場に向けて発信をした。

3. 質疑応答：松前町総務課防災担当者様を交えて

別紙資料あり

★自主防災組織について。要介護3以上の方を対象に個別の避難計画を立てるようお願いをしているが、周知されていない現状がわかる。また、自主防災組織の人数不足と高齢化も課題となっている。じゃあ、どうしようという意見まではまとまらなかったが、町全体を上げて考え、取り組むべき問題であることを確認する。

★小中学校の体育館は避難所の指定をされているので、その場で待機がベター。来年の夏までにはエアコン設置を決めているが、体育館にエアコン設置される、されなくて避難後の生活への影響が変わるだろう。

★松前体育館は福祉トイレあり、自家発電あるのでエレベーターの使用も可能である
こと考えると、要介護者が避難するにはベストと考えられる。

★そのほか、個別な質問も多く飛び交い、町民の関心が深いテーマである事がよく分かった。「明日は我が身」と考えて備えていく必要がある。

4. まとめ・閉会の挨拶 理事・デイサービス管理者：盛次有希

(ア)大量の雨と大潮（満潮時刻）が重なった時が要注意！

(イ)避難準備が出た時点で準備を行う。避難時の必要物品を敏速にそろえることができるよう日頃の準備

(ウ)避難場所は松前体育館

(エ)家族はデイに迎えに来ないで。避難場所へ家族も集合を！

(オ)もしもの時の連絡先の確認。連絡先を携帯に登録。

(カ)ご近所への日ごろの声掛け。独居の親がいます、の挨拶。

(キ)災害時は携帯が繋がらない可能性あり。Line グループ作成の検討

(ク)困った時の助け合い。

① 利用日でない方への救済の手を考えられないか？

② 被災に合わなかった方の住居への仮住まい交渉

(ケ)避難して終わりではなく、避難して始まる。要介護者へのケアをかおりは取り組みたい。でも自分たちの生活もある。専門職での役割分担。役場の方は、被災者の 24 時間 365 日を考えてほしい。

(コ)役場任せではだめ。自主防災組織をつくらないと。まず自分の出来る事から。冒頭の事例、洋国団地を見習って、要介護者の避難担当者を決められるのが理想だろう。

⇒10月10日水曜日 13時から 医療法人きらり全体で重信川決壊を想定し、松前体育館へ全員で避難訓練を行います。今回は、利用者の体調を考え、車での移動と考えますが、車がかえない時はどうやって移動するか？というのが最大の課題です。

⇒次回は平成 31 年 2 月開催。「家族介護に対する不安」をテーマに事前アンケートを行い、皆さんと色々語り合える運営推進会議にしたいと思います。

議事録文責：盛次有希